

Yahooの新しいCEOメリッサ・メイヤーは在宅勤務を廃止した

少し古い話であるが2012年Googleからスカウトされ、低迷するYahoo再建のためにCEOに就任したメリッサ・メイヤーは2013年6月から、在宅勤務を廃止し、全員をオフィスで働かせることにした。新方針は在宅勤務を毎日している場合のみならず、週のうち1-2日だけ自宅で仕事をする場合をも例外なく対象にするという。All Things Digital (IT技術やインターネット、メディアに特化したニュースを提供しているサイト)が昨年2月に掲載したYahoo人事部長の社内メモは次のように、新方針の趣旨を説明している。

「最も素晴らしい職場になるためには、コミュニケーションと協力は重要であり、私達は、お互いが並んで仕事をする必要があります。その意味から、私達がすべてオフィスに出社していることが重要なのです。最も優れた決定や洞察は、廊下やカフェテリアでする議論、新しい人々に出会うこと、チームで行なわれるちょっとしたミーティングなどから生まれたりするものです。在宅勤務ではスピードや品質がしばしば犠牲にされています。私達は、ひとつのYahooである必要があるのです！そして、ひとつのYahooは物理的に一緒にいることにより始まるのです。」

この決断は、ヤフーが陥っていた、社員の士気の低下、目標の喪失、膨れ上がった官僚組織といった風土を改革するための措置の一環だとする上級社員の声をNYTimesは紹介している。

ボストン大学のキャシー・クラム教授はこの新方針は、インベーションは廊下やカフェテリアでのちょっとした話し合いの機会において最も起こるとしているが、そのような機会は他の方法でも十分に可能であり、それを理由に在宅勤務を廃止することに不快感を示している。さらにYahooはIT企業でありながら、skypeをはじめ、種々のオンラインテクノロジーを在宅勤務者に利用させる努力をどこまでしていたか疑問を呈している。



さらに今回、メリッサ・メイヤーが社員や世間から不評を買ったのは、自分の子供用に、CEOルームの隣に、保育ルームを作らせ、乳母、コック、掃除担当を配置したことだ。「彼女のように、一般の社員は自宅やオフィスにフルタイムのチャイルドケアのリソースを持っていないこと。さらに、子供が幼い時には社員がどれほど多くの時間を子供たちと過ごしたいと思っているかについて、

彼女は分かっている。」とクラム教授は批判する。

BestBuyもROWEの考え方を放棄

Yahoo同様、経営不振からの回復を託された米国の家電量販会社BestBuy社のCEO・ユベール・ジョリーはROWE (Results-Only Work Environment 結果志向の職場環境)を放棄することを昨年宣言した。BestBuy社は物理的に席についていることが生産性を示すという伝統的な考え方を払拭しようと、ROWEを2006年に始めた。このプログラムは何時間働いたかよりも、生み出した成果によって業績を判断することにビジネス界の注目を浴びた。社員は自分でカレンダーを管理し、どこでも仕事をできるのなら事務所にいることは必須ではないとした。

しかしながら、2013年3月CEOのジョリーは、リーダーシップの観点からみて、ROWEは根本的に問題があると明確に宣言し、会社の現状を変革するために、主要スタッフはオフィスで勤務するようにとの指示を出した。特に彼が問題としているのは「ROWEのもとで管理職による権限移譲が部下の能力とは無関係に行われていたこと」であり、「コーチング、動機づけ、明確な指示がリーダーにはより必要だ。」と語った。

ワークライフバランス推進を目指すフランス EDHEC 経営大学院のモニーク・バルカー教授はROWEの放棄はあまりに近視眼的と懸念を示し、「ROWEは離職率を減少させ、生産性、社員の快適な暮らし、およびワークライフバランスを増大させることを種々の調査・研究が示している。ROWEはその後40社を超える企業で実施されている。(中略)よく訓練されたリーダーによって効果的に実施されれば、ワークライフバランスを促進するだけでなく、長期的に見て、社員の価値と貢献を最大化することになる。」と語る。

編集後記

Yahooの今回の措置は介護・育児の役割を担う社員にとって辛い提案です。メリッサ・メイヤー自らが非常に大胆な提案であることを認めており、将来的に再び議論すると述べていることは救いです。確かに、社員が在宅勤務で週の内一度も会社に姿を現さないという勤務形態では社員同士のインフォーマルな会話、出合いの機会が減る、「コミュニケーションと協力」が十分に機能しないという懸念は理解できます。しかし在宅勤務の全廃まで逆戻りをしなくても、週1-2回の在宅勤務は認めるなどのバランスのとれた施策の実施は可能だと思います。

私の娘は東京で1歳の子供を保育園に預け、仕事と育児の両立を必死に行っています。幸い週2回の在宅勤務が認められており、何とか生活を維持しているようです。その姿にエールを送りたいと思います。

野尻